

新任助手紹介



歯科麻酔科

豊里 晃

子供の頃から自分を表現するのが苦手だった。ありのままの自分をといわれても、特別頑固につき合う趣味があるわけではなく、何にでも手を出して飲みこんでしまう質である。しかし飽きるのも早い。おまけにものが捨てられないので、机の周りや部屋にはものがたまっていく。頭の中の整理整頓も苦手だが、身の回りの整理整頓も苦手で、机の上はすぐに煩雑になってしまう。こんな性格を引きずりながら平成4年に本学部を卒業して早くも8年目となりました。卒業後は歯科麻酔科に入局しましたが、当時歯科麻酔科には大学院が開設されていなかったため、麻酔学を深く追求するためには、その基礎をなす薬理学を学ぶ必要があると染矢教授から助言をいただき、歯科薬理学講座に籍を置き4年間研究生活にどっぷり漬かりました。その後歯科麻酔科に戻ってから、手術室での麻酔や口腔外科外来、病棟の研修を行いました。基礎研究をしているときは、ウサギやラットなど苦痛を与えず殺傷するために麻酔をかけていたので、初めて手術の全身麻酔を担当したときは、患者さんが本当に目を覚ますのかずっと心配でした。手術が終わりにさしかかった頃、麻酔が浅くなり急に動き出した時には、手術担当の先生にこっぴどく叱られましたが、心の中ではほっとしました。

休日はほとんど子供と過ごすことが多く、平日の仕事以上に疲れがたまり誰よりも先に高いびき

をかいて眠ります。新潟へ来て16年、身も心もこの地とけ込んできたような気がします。

【略歴】

昭和38年生まれ
昭和57年3月 沖縄県那覇高校卒業
昭和61年4月 新潟大学歯学部入学
平成4年3月 同上卒業
平成4年4月 新潟大学大学院歯学研究科入学
(歯科薬理学講座)
平成8年4月 同上修了
平成8年4月 新潟大学歯学部附属病院医員
(歯科麻酔科)
平成9年6月 琉球大学医学部附属病院麻酔科
研修医(6ヶ月間)
平成9年12月 新潟大学歯学部附属病院医員
(歯科麻酔科)
平成11年4月 新潟大学歯学部助手
(口腔外科学第一講座)



口腔生化学講座

伊藤 将広

この度、4月より口腔生化学講座の助手として新任致しました。

生化学というと分子生物学的手法を専門とする教室ですが、私は昨年まで第一口腔外科に所属しておりました。その間、臨床の傍ら、骨代謝の形態学的な研究を行っていました。これは大学院時代に小澤教授の第一口腔解剖に出入りしていた頃から引き続き行っているものです。ですから、生化学といっても知らないことが多く、今は早く新し

い分野に慣れようとしているところです。今まで、臨床において口腔領域のみならず、大きな問題の一つである癌の周囲への骨浸潤、あるいは骨転移といったテーマを中心に研究を行ってきました。実際に、当附属病院においても口腔癌の進展による周囲骨の破壊により、顎の再建を余儀なくされている患者さんも少なからずいらっしゃいますし、他臓器への転移により多大な苦痛を強いられている患者さんもいらっしゃいます。そうした現象を形態学的にとらえようとしてきました。そしてさらに、分子生物学的な角度からも展開したいという興味もあり、現在、織田教授のもと、臨床、歯の形成不全や発育不全、形成異常といった症状を引き起こす低ホスファターゼ症の解明と同時に、研究を行っています。

学生時代は、ラグビー部とスキー部に所属していましたので体を動かすことが好きなのですが、今はなかなか運動する機会が減りこれが悩みの種です。今年は体力強化（回復？）も大きな目標に掲げなければと思っています。

-----【略歴】-----

昭和43年 東京都生まれ
 昭和62年 3月 大宮北高校卒
 昭和63年 4月 新潟大学歯学部入学
 平成6年 3月 同上卒業
 平成6年 4月 新潟大学大学院歯学研究科入学
 （口腔外科学第一講座）
 平成10年 3月 同上修了
 平成10年 6月 新潟大学歯学部附属病院医員
 （口腔外科学第一講座）
 平成11年 4月 新潟大学歯学部助手
 （口腔生化学講座）



小児歯科学講座

三 富 智 恵

「さすが医局長、文才あるよねえ。私、文章は

全然だめ。最近、漢字も書けないし。」小児歯科20周年記念誌の原稿をこっそり拝見し、その名文に感嘆の声をあげていた私の元に、タイミング良く届いた歯学部ニュースの原稿依頼。締め切りまで随分あるのに書き出した心境は、昨年まで私も同窓会の仕事に携わり、歯学部ニュース発行が遅れる度に担当の先生が漏らしていた「原稿が集まらないんだよね。締め切りすぎてモ。」との悲しげな声が忘れられないのです。

さて、長野県の佐久という大自然の中に生まれ育った私は、つい最近までは身体を動かさない人生は考えられませんでした。大学1年の時に、バイオリンを持つしとやかな女性に憧れ、オーケストラ部に入り弦を握っていたのですが、半年後、その手にはテニスラケットを握っていました。

大学卒業後からは小児歯科でお世話になり、その間の私生活では、妊娠出産を経験しました。妊娠8か月の大きなお腹にも関わらずラケットを握っていて、周囲に止められたりもしましたが、まあ元気な子が産まれたので、それはそれで良かったのだと思います。しかし最近、全く運動する機会がなくなってしまい、ついに先日「ギックリ腰」になり、運動不足を実感。医局の若者達と変わらないと思っていたのですが、認識不足だったようです。今回助手に採用され、仕事上での責任を認識するとともに、自分の身体の事も自覚しなくてはと思っています。で、まずは体力作り・腰痛対策として、またラケットを握ろうかな。いつまでも懲りない私です。

-----【略歴】-----

昭和43年 4月 長野県生まれ
 昭和62年 3月 長野県立野沢北高校卒
 昭和63年 4月 新潟大学歯学部入学
 平成6年 3月 同上卒業
 平成6年 4月 新潟大学歯学部附属病院医員
 （小児歯科学講座）
 平成11年 4月 新潟大学歯学部助手
 （小児歯科学講座）



歯科矯正学講座
朝日藤 寿 一

矯正科の朝日藤寿一です。初めてこの名字を読む人の95%は あさひふじ と読みますが正確には あさひとう と読みます。名前は としかずです。姓名ともに正確に呼んでくれる人はほとんどいません。「おめでたいお名前ですね」とよく言われるのですが、本人自身のキャラクターもおめでたいとよく言われます。名字の由来については諸説がありますが正直なところ不明です。生まれてこのかた、親族以外で同じ名字の人を見たことがありません。

出身は埼玉県浦和市。入学当初は在来線特急「とき」で4時間あまりかかったものですが、新幹線、関越自動車道が相次いで開通し便利になりました。新潟で過ごした月日と浦和で過ごした月日がほぼ同じになりつつありますが、新潟の冬の天候にはまだ抵抗があります。

早いもので卒業して10年になります。現在、矯正科では唇顎口蓋裂患者の矯正治療、顎発育を、基礎系の仕事として口腔解剖学第二講座のご指導の下、歯根膜神経の生後発育について研究させていただいております。

矯正科は患者さんと接する期間が他の科に比べ長いのが特徴です。初診時小学生だった患者さんが中学生、高校生に、中学生や高校生だった患者さんが大学生、社会人に成長し、中には結婚して子供を連れてきたりすると、その成長をうれしく思う反面、時の流れの速さに愕然とすると同時に、自分の未熟さを痛感する今日この頃です。この機を一つの節目としてさらに研鑽を重ねたいと考えております。

【略歴】

- 昭和35年 5月 埼玉県生まれ
- 昭和54年 3月 埼玉県立浦和高等学校卒
- 昭和57年 4月 新潟大学歯学部入学
- 平成 2年 3月 同上卒業
- 平成 2年 4月 新潟大学歯学部研究生
(歯科矯正学講座)
- 平成 7年 4月 新潟大学歯学部附属病院医員
(歯科矯正学講座)
- 平成11年 4月 新潟大学歯学部助手
(歯科矯正学講座)



歯科補綴学第一講座
池田 圭 介

洋食器で世界的に有名な新潟県・燕市の出身です。実家もその地場産業関連の仕事をしてはいますが、家業を継ぐ予定ではなかったので、将来の進路は好きなように選択できるはずでした。しかし、進学と同時に職種が確定してしまうというこの学部に入った為、もはや18にして優秀な歯医者を目指すべく精進していかなければならなくなりました。

ちなみに、子供のころの夢はプロゴルファーになることでした。このころ、ゴルフを題材にした漫画が結構ありましたが、その中でも「プロゴルファー・猿」が一番好きでした。主人公・猿が、ドライバー - 1本を武器に賭けゴルフでお金を稼いでいく。そのお金を切り株の下に無造作に貯めておき、負けると切り株の下のお金を驚づかみして支払う。深く感銘を受けました。その甲斐あって私のゴルフデビュー - は割と早く、小学校5・6年のころには何度か本格的なコ - スも回らせてもらってました。今現在、私はゴルフはやっていませんが、いつかまた始めたいと思っています。もう

一つ、これも漫画ですが、「ブラックジャック」の影響で外科医にも憧れていました。無免許医である主人公が難しい手術を引き受け、法外な報酬を要求するという有名なお話。当時は「手術代ってこんなにかかるのか～」なんて本気で思っていました。小さい頃の話で自己紹介が終わってしまいましたが、ふりかえると、どうやら当時はお金を稼ぐことに興味があったようです。今現在はお金を使うことが趣味というかストレス発散という私です。

【略歴】

昭和44年 9月 新潟県生まれ
 昭和63年 3月 新潟県立三条高校卒業
 昭和63年 4月 新潟大学歯学部入学
 平成 6年 3月 同上卒業
 平成 6年 4月 平成 6年 4月 新潟大学大学院歯学研究科入学（歯科補綴学第一講座）
 平成10年 3月 同上修了
 平成10年 4月 新潟大学歯学部附属病院医員（歯科補綴学第一講座）
 平成11年 4月 新潟大学歯学部助手（歯科補綴学第一講座）



歯科薬理学講座
吉澤達也

今年度から川島博行教授のもとで助手を務めさせて頂くことになりました吉澤達也と申します。今年東京大学大学院博士課程を修了したばかり、また年齢も3月で30になったところです。自分は生まれも育ちも東京で、特に25年間中は野区の繁華街にある実家に住んでいました。周りは飲み屋ばかりで、自然というものは殆ど見あたらない場所です。その反動か、父親がよく山に連れて行ってくれた影響か、趣味はスキューバダイビング、

釣り（フライフィッシング、海釣り）、登山、スキー、映画と殆どアウトドアスポーツばかりになってしまいました。

大学は東京農業大学で、研究室に配属されるまでは寝る間を惜しんで遊んでいました。自分は好奇心旺盛で、興味あることは自ら進んで企画を立ててすぐ行動する性格なので、いつも幹事のようなことをやっていたような気がします。研究室に入ってから研究の面白味を知り、気が付いたら大学院で実験三昧の日々を送っていました。研究内容は「核内ビタミンD受容体の高次機能に関する研究」という事で、ノックアウトマウスの作製、解析を行っていました。当時ノックアウトマウスの系は研究室に無く、自分がチームリーダーとして後輩を指導しながら系を立ち上げていかなければならなかった事は、今となっては価値ある経験と自信になっています。

最後に、この度研究者としてやっとスタートラインに立てた身でありますので、諸先生、事務の皆様には大変ご迷惑をお掛けするかもしれませんが、ご指導ご鞭撻を頂けますようお願い申し上げます。

【略歴】

昭和44年 3月 東京都生まれ
 昭和62年 3月 東京都立豊多摩高等学校卒業
 平成元年 4月 東京農業大学農学部農芸化学科入学
 平成 5年 3月 同上卒業
 平成 5年 4月 東京農業大学大学院農学研究科農芸化学専攻博士前期課程入学
 平成 7年 3月 同上修了
 平成 7年 4月 東京農業大学大学院農学研究科農芸化学専攻博士後期課程入学
 平成 8年 3月 同上退学
 平成 8年 4月 東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命工学専攻博士課程入学
 平成11年 3月 同上修了
 平成11年 4月 新潟大学歯学部助手（歯科薬理学講座）



予防歯科学講座
村田 貴俊

はじめまして新潟のみなさん、この4月1日より予防歯科学講座に採用されました村田貴俊と申します。このたび大変光栄なことに歯学部ニュースより自己紹介の機会をいただきましたので簡単に私の経歴とこれからの抱負を述べさせていただきます。

昭和42年に北九州市八幡西区に生まれ、大学院終了まで北九州市で過ごす。小中高と地元の学校を卒業し、昭和61年九州歯科大学入学。平成5年卒業後、同大学院歯学研究科博士課程口腔衛生学（現予防歯科学）専攻へ進む。平成8年日本学術振興会特別研究員。平成9年大学院修了博士（歯学）取得。その直後よりアメリカ合衆国のプリンストン大学でポスドクトラルフェローとして2年間研究に従事する。平成11年新潟大学歯学部採用され現在に至る。

以上私の経歴を簡潔に述べさせていただきました。

これからの抱負として、研究者としては、歯周病宿主組織の分子細胞生物学的検索を、予防という観点から進めていければと思っています。教育者としては一方的に知識を伝えるのではなく、科学としての歯学というものを学部生、大学院生とともに考えていければと思っています。臨床家としては、スタッフの皆さんの多大なサポートを受けながら、悪戦苦闘しているところですが、患者さんの信頼を得、また失うことなく、頑張っていきたいと思います。

新潟という土地に初めて足を踏み入れわからないことばかりですが、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

【略歴】

- 昭和42年7月 北九州市生まれ
- 昭和60年3月 福岡県立東筑高校卒
- 昭和61年4月 九州歯科大学入学
- 平成5年3月 同上卒業
- 平成5年4月 九州歯科大学大学院歯学研究科入学
(口腔衛生学講座)
- 平成8年4月 日本学術振興会特別研究員
- 平成9年3月 九州歯科大学大学院歯学研究科修了
- 平成9年4月 米国プリンストン大学ポスドクトラルリサーチフェロー(分子生物学)
- 平成11年4月 新潟大学歯学部助手(予防歯科学講座)



歯科補綴学第一講座
澤田 宏二

歯科補綴学第一講座の澤田宏二です。平成5年新潟大学卒業後、東京医科歯科大学高齢者歯科学講座に2年間在籍しました。それから新潟に戻り、大学院で4年間研究し、この度7月1日付けで助手となりました。

生まれは東京です。生粋の江戸っ子.....のはずなのですが、『東北なまりだな』とか、『あか抜けてないね』とよく言われます。『素朴』ということでしょうか？よく解釈しておきましょう。前向きにしか物事を考えないのが特徴です。また、歩き方に特徴があり、日焼けで黒いにも関わらず、闇夜でもシルエットだけで私だと分かります。よく、『サッカーやっているだけに重心が低い』といわれますが、その意味するところは..... 足.....ひどい。

現在、補綴科ということもありまして、お年寄りと接する機会が多いわけですが、なぜか昔からお年寄りと子供にはうけが良く、そういった意味では適材適所なのかもしれません。動物にも親近感を持たれやすいようです。特にサル？

趣味は体を動かすこと、大勢の仲間とワイワイ騒ぐこと、ビールがあれば言うことなし。新潟は枝豆もおいしいですね。でも、最近第2の人生を歩むために矯正治療を始めまして、硬いものはちょっと食べづらく、茶豆がおいしく頂けないのが歯がゆいです。また、芸の道に踏み出してみようかと思い、ウクレレも始めました。3年後には『芸のできるトムクルーズ』になる予定です。今後ともよろしくお祈りします。

-----【略歴】-----

昭和42年 7月 東京都生まれ
 昭和61年 3月 東京都私立桐朋高校卒
 昭和62年 4月 新潟大学歯学部入学
 平成 5年 3月 同上卒業
 平成 5年 4月 東京医科歯科大学高齢者歯科学講座入局
 平成 7年 3月 同上退職
 平成 7年 4月 新潟大学大学院歯学研究科入学
 (歯科補綴学第一講座)
 平成11年 3月 同上修了
 平成11年 4月 新潟大学歯学部附属病院医員
 (歯科補綴学第一講座)
 平成11年 7月 新潟大学歯学部助手
 (歯科補綴学第一講座)



歯科保存学第二講座
 杉田典子

歯科保存学第二講座に入って早13年目になります。その間、半年間千葉へ出張したのみで、ずっと同講座で研究と教育と診療の日々を送って参りました。しかし昨年度は原先生の御英断により研究に専従するため全く臨床は行わず、担当していた患者さんは講座の他のドクターにすべて診ていただきました。お陰様で研究は非常にスムーズに進み(なにしろ毎日朝から晩までひとつの実験をしているわけですから)ちゃんと論文になりました

たが、その後学内でよく「あれ、大学にいたの?」と言われ、患者さんには「てっきり開業されたと思いましたが」と言われその都度説明しなければなりません。4月からまた外来に出ていますので歯学部の皆様どうぞよろしくお祈りいたします。研究の方も吉江教授のもと、小林哲夫先生、大学院の山本さんとともに続けています。また、予防歯科の先生方とも共同研究進行中です。現在の研究テーマは「IgG受容体遺伝子多型の歯周炎への関与」です。昨年はスイスでの学会とオランダ・ユトレヒト大学van de Winkel教授訪問、同教授来日、東北大加齢医学研究所の高井教授と会い、また、東大の人類遺伝学講座で連鎖解析を勉強、などいろいろと刺激的な年でした。今年度は助手になり忙しくなったわりには、比較的冷静に研究内容や計画を考えられそうです。なお、プライベートでは特に良いことも悪いこともなく6歳半のおばさん猫とともに暮らしております。

-----【略歴】-----

栃木県出身
 昭和62年 3月 新潟大学歯学部卒業
 昭和62年 5月 新潟大学歯学部研究生
 (歯科保存学第二講座)
 平成元年 4月 新潟大学歯学部附属病院医員
 (歯科保存学第二講座)
 平成 5年 4月 新潟大学歯学部研究生
 (歯科保存学第二講座)
 平成 5年10月 新潟大学歯学部附属病院医員
 (歯科保存学第二講座)
 平成 8年 4月 新潟大学歯学部研究生
 (歯科保存学第二講座)
 平成 9年 4月 新潟大学歯学部附属病院医員
 (歯科保存学第二講座)
 平成 9年10月 新潟大学歯学部附属病院教務補佐員
 (歯科保存学第二講座)
 平成11年 4月 新潟大学歯学部附属病院助手
 (歯科保存学第二講座)



小児歯科学教室
渡 邊 淳 一

この度、4月付けで歯学部助手（小児歯科学講座）で勤務することになりました渡邊淳一です。大学院修了と同時に職務を頂くことができた幸運を胸に、歯学部および附属病院の為に邁進することをこの場を借りて誓います（少し真面目に...）。

自己紹介:1970年4月26日生、牡牛座、B型、山形県酒田市出身。学生時代は、バレーボール部と軽音楽部に所属、先日（7/30～8/2）も歯学体バレーボール部門に監督として出場（参加）男子部は予選リーグで敗退でしたが、女子部では、絶妙なタイムアウトとコーチングを以て優勝に大きく貢献しました（少し大袈裟すぎ？）。最近ちょっとうれしかったこと・昨年の11月に新車（スパシオ）を購入、初めての冷房付きマイカー（これまで夏は窓全開・汗ダラダラで走っていた）に、今年の夏は快適走行。おかげで、少し太りました。最近始めたこと・スキューバダイビング。まだまだ初心者なのですが、一緒に潜って頂ける人を募集しています。今年の目標・築20年以上も経つ冷房無しボロアパート（今年の夏は特に暑かった？）を脱却し、もう少しましな所に住み替えることです。最近困っていること・ベルトの止め穴が2つずれたこと、中性脂肪値が正常値を超えたこと。やはり、30代からは日頃の自己管理をしっかりとすべきなのでしょう。今後の目標・来る21世紀に向けて、新潟大学歯学部および附属病院の発展のため、臨床・教育・研究に全身全霊で貢献することです。

【略歴】

昭和45年4月 山形県酒田市生まれ
平成元年3月 山形県立酒田東高等学校卒業
平成元年4月 新潟大学歯学部入学
平成7年3月 同上卒業
平成7年4月 新潟大学大学院歯学研究科入学
（小児歯科学講座）
平成11年3月 同上修了
平成11年4月 新潟大学歯学部附属病院助手
（小児歯科学講座）